

環境保全の取り組み

発表者 柳川市立昭代第一小学校 前校長 楠田 敏治

○ はじめに

1 柳川市の概要

「水辺と人が輝くまち柳川」を本市が目指す将来の都市像として掲げ、この将来像の実現にむけて、掘割を基軸としたまちづくりと、そこに暮らす人々がともに輝き、共生するまちづくりを進めています。総延長470kmの及ぶ「掘割」、この掘割が醸し出す独特の風情は、多くの文人を育て歴史と文化を今に残す貴重な財産であり、これを守り育て、後世の人々へ受け継ぐことは責務でもあります。このために、平成11年1月に「柳川市掘割を守り育てる条例」を制定し、市・市民等及び事業者が一体となって良好な水環境の保全と環境教育の振興に取り組むこととしています。さらに、この条例の推進のために「掘割を生かしたまちづくり事業計画」を策定し、計画実現に向けて努力している。平成17年3月1日市二町合併で新柳川市になり現在に至る。

2 柳川市PTA連合会として

市内小学校19校、中学校6校の25校からなるPTA連合会。各単Pでは、それぞれに活動の活性化や委員会活動の推進がなされている。

市P連では、柳川市の「掘り割りを生かしたまちづくり」と子どもの幸福のための環境づくり、PTA会員の人間関係づくりに重点を置いて取り組んでいる。

3 各学校の主な活動

(1) 環境を視点にした各学校の取り組み内容(12校抽出)

	主 な 活 動 内 容 (PTAを取り込んだ)
柳 河 小学校	・児童の環境を整える清掃 ・掘割の浄化作業 EM 団子・掘割投入
城 内 小学校	・掘割清掃 ・ほりんご学習 ・廃油石鹸づくり 等 EM 団子・掘割投入
蒲 池 小学校	・親子除草作業 ・花一杯運動 EM 団子・掘割投入
両 開 小学校	・親子ふれあい行事 ・矢部村とのPTA交流 等 EM 団子・掘割投入
矢 留 小学校	・掘割清掃 ・「柳川の掘割学習」 EM 団子・掘割投入
東宮永 小学校	・省エネ学習会 ・環境問題視察研修会 他 EM 団子・掘割投入
昭代第一小学校	・交通指導 ・環境指導 ・廃品回収 ・合同環境活動 EM 団子・掘割投入
昭代第二小学校	・交通指導 ・環境指導 ・廃品回収 ・合同環境活動 EM 団子・掘割投入
蒲 池 中学校	・月花の会 ・水辺公園清掃 ・花一杯運動
柳 城 中学校	・花一杯運動 ・健全育成に向けた取り組み
柳 南 中学校	・花一杯運動 ・リサイクル活動 ・健全育成に向けた取り組み
昭 代 中学校	・環境指導 ・健全育成に向けた取り組み ・合同環境活動

(2) 環境に視点をあてた取り組みの実際

① 小学校EM泥団子編(じゃぶじゃぶ作戦と団子作戦)

○ EMは地球上に存在する微生物のうち、環境にいい影響を与える微生物の複合体です。これらの微生物は家庭から出る生活排水を浄化するはたらきがあります。今までは、有明海環境保全活動として漁協婦人部を中心にEM泥団子投入を行ってきた。また、掘割には毎週5トンの活性液を市内30カ所に投入(じゃぶじゃぶ作戦)している。

今年度は、市内全校区の児童及びPTAによる掘割への団子投入を行うことにより

水環境について考え、意識の高揚を図るものである。

投入場所	校舎周辺掘及び川下りコース 水路や水辺公園
投入日	7月20日(火) 1学期終業式後
団子作成数	3100~3500個 他団体 総計50,600個
団子の大きさ等	野球のボール程度 1平方メートルに1個

② 矢留小学校の「堀割清掃」と「堀割学習」

○ 「堀割学習」

・行政も行っているが、PTAによる清掃活動も行っている。水中に入り、伸びすぎた水草、藻を抜き取ったり、沈んでいるゴミをとったりする。また、掘岸の清掃も行っている。

○ 「堀割学習」

・4年生の子ども達とPTA及び公民館、育成会、社会福祉協議会の共催で「柳川の堀割学習」を行っている。郷土の堀割や水との関わりを知ることによって、自分と水との関わりについて考え、郷土を愛する意欲を高めるものである。

実際の主な活動としては、次の通りである。

堀割見学(川下り) → 水の資料館見学 → 公民館で堀割についての講話

③ 柳河小学校の「児童の環境を整える清掃活動」～環境整備委員会

○ PTA役員会の決定で、夏休みの最初と最後の日曜日に清掃作業を行う。

④ 学校の「廃油石鹸づくり」

○ なぜ、廃油を使って石鹸づくりをするのか、環境問題について講師に10分間程度、話をしていただいたあと、6つの班に分かれて石鹸づくりを行った。

作業を行うものは、液体が体についたり、目に入ったりしないように長袖、長ズボン、ゴム手袋、めがねを着用し、また、発生するガスを吸い込まないようにマスクを着用した。さらに、窓をすべて開け放ち、通気をよくして実施した。

どろどろの液体状態で、牛乳パックにつめて保管。翌日、適当に固くなったところで、適当な大きさに切断。40日程度で使用が可能になる。

⑤ 中学校における花いっぱい運動

○花を植え、育てることによって、子ども達が心豊かな学校生活を送ってほしい。

・プランター大作戦(予算50,000円程度)

⑥ 六合小学校環境調査隊

○ 協力機関 有明のり漁連 柳川市役所生活環境科

○ 用意した物 CODパックテスト 河川水 水道水 校区地図

【活動の実際】

(1) 矢部川ゴミ調査

5月に矢部川のゴミ調査を行った。このときは、投げ捨てられたペットボトルや空き缶が目立った。また、たばこの吸い殻や弁当のかすなども見つかった。

このとき、ゴミの量や種類について調査を行った。

子どもたちの感想から、思ったよりゴミは少ないと思っ
た子が多い。



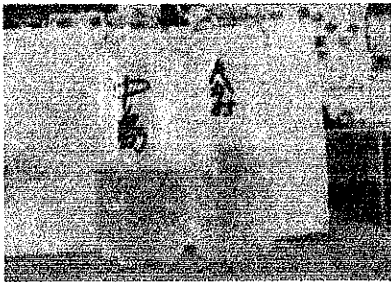
(2) のりの恋人有明海

大和町は、のりの産地である。そのことから有明海は自分たちの生活の中でとても大切な場所である。この宝の海にはどんな生き物が生息しているのか調べ実際魚屋などにいき、どんなものがとれるのかインタビューしたり、写真でとってきたりしながら、レポートにまとめた。有明海にしか生息しない生き物などを知り、大切にまもらなければという意識も高まった。

(3) 環境調査隊

○ 矢部川環境調査

ゴミの量、ゴミの種類の調査
矢部川の水質調査



実際、半年ほどたって行ってみると、春のころより、粗大ゴミやポイ捨てなどかなり増えているのに驚いた。家庭から持ち込まれたゴミの多さに大人の意識が、ゴミについての考えが甘いように子どもたちは感じ取ったようだ。

○ 矢部川につながる地区の川の水の調査

矢部川にも、矢部川にしかいない生き物を調べ、その生き物を守るべく実際自分たちが家庭から流している排水はどうなっているのか地域の水質を検査することにした。検査結果から、自分たちが出している排水は魚が住むのに汚いということがわかり、ショックを隠しきれなかった。

○ 地域への呼びかけ

子どもたちは、自分たちの身近な大人に現状を知ってもらおうと、授業参観を通して発表した。壁新聞にまとめたり、具体物を見せたりしながら、少しでも大人の人に理解してもらおうという意図があった。GTに柳川市の生活環境課の方をお呼びしてリサイクルの仕方などをお話して頂きました。

また、調査に行ったときのごみの多さから、地域の人と行おうと呼びかけをすることを試みた。自分たちでお便りを作成し、全校児童に呼びかけをするなど意欲的に活動することができた。



○ おわりに

どこでも行われている活動ではあるが、私たち大人は、地域にあるいろんな団体と連携し「子どもが活動する」「子供とともに活動する」「親が協力して活動する」機会を増やし家庭や地域の教育力の向上につながればと考えている。